

松本城の築城

松本城の築城

(1) 石川家の入城

石川数正（1593 年没）は、徳川幕府を開いた徳川家康（1543-1616）の長年の家来であった。家康の生誕地である岡崎城の警備を任されていたほどである。しかし、1585 年、数正は突然、豊臣秀吉（1537-1598）と同盟を結び、その見返りとして和泉国を治めることを許された。1590 年、秀吉が小笠原氏を松本城から追い出すと、石川氏を後継者に選んだ。

(2) 天守閣の建設

数正と長男の石川康長（1554-1643）は、城下町を拡充し、松本城の整備に着手した。数正は入城からわずか 3 年で亡くなったが、康長は大天守、乾小天守、渡櫓を完成させた。

18 世紀の松本の歴史と地理に関する書物『信府統記』には、築城の初期段階が描かれている。

「数正は二の丸に屋敷（古山地御殿）を構え、城の配置を考え始めた。天守閣を建て、最外堀を掘り、堤防を高くして石垣を積み、渡櫓、黒門、太鼓門を建て、堀を直し、三の丸の門に櫓を建てた。また、総堀の堀の大部分を築き、城内の屋敷も修造した。また、城の内外に武士の住宅を建設した。

江戸時代（1603～1867）の松本城

(1) 歴代城主

江戸時代、松本城は 6 家 23 代の城主によって統治された。松本城は、松本藩（現在の長野県の中信地区にほぼ一致）の行政の中心地であった。この時代、全国は数百の藩に分かれており、大名は幕府の命令によって支配者の任免が可能であった。幕府に忠実な大名は、より立地条件のよい領地に移封されたり、米の単位である「石高」を増やされたりすることがあった。松本藩は、その立地条件と俸禄の高さから、将軍家と密接な関係を持つ大名が多く配された。

| 名字 | 名前 | 統治期間 |
|------------|---------------------|-----------|
| Ishikawa | Kazumasa | 1590–1592 |
| | Yasunaga | 1592–1613 |
| Ogasawara | Hidemasa | 1613–1615 |
| | Tadazane (Tadamasa) | 1615–1617 |
| Toda | Yasunaga | 1617–1632 |
| | Yasunao | 1633–1633 |
| Matsudaira | Naomasa | 1633–1638 |
| Hotta | Masamori | 1638–1642 |
| Mizuno | Tadakiyo | 1642–1647 |
| | Tadamoto | 1647–1668 |

| | | |
|-------------------|------------|-----------|
| | Tadanao | 1668–1713 |
| | Tadachika | 1713–1718 |
| | Tadamoto | 1718–1723 |
| | Tadatsune | 1723–1725 |
| 徳川幕府の直轄領時代 | | |
| Toda | Mitsuchika | 1726–1732 |
| | Mitsuo | 1732–1756 |
| | Mitsuyasu | 1756–1759 |
| | Mitsumasa | 1759–1774 |
| | Mitsuyoshi | 1774–1786 |
| | Mitsuyuki | 1786–1800 |
| | Mitsutsura | 1800–1837 |
| | Mitsutsune | 1837–1845 |
| | Mitsuhisa | 1845–1869 |

| 家名 | 官位 | 石高 1石≈180L | 前職 | 次職 |
|-----|--|---------------------|-------------------------------------|--|
| 石川 | 伯耆守（伯耆国の守護）：数正 玄蕃頭（寺社奉行・外務奉行）：康長 | 80,000 <i>koku</i> | Izumi Province | 改易除封 |
| 小笠原 | 信濃守（信濃国の守護）：秀政 右近大夫（右近の第五位の判官）：忠政 | 80,000 <i>koku</i> | Shinano Province, Iida domain | Harima Province, Akashi domain (10,000 <i>koku</i>) |
| 戸田 | 丹波守（丹波国の守護）：康長 佐渡守（佐渡国の守護）：康直 | 70,000 <i>koku</i> | Kōzuke Province, Takasaki domain | Harima Province, Akashi domain (70,000 <i>koku</i>) |
| 松平 | 出羽守（出羽国の守護）：直政 | 70,000 <i>koku</i> | Echizen Province, Ōno domain | Izumo Province, Matsue domain (186,000 <i>koku</i>) |
| 堀田 | 加賀守（加賀国の守護）：正盛 | 100,000 <i>koku</i> | Musashi Province, | Shimōsa Province, |

| | | | | |
|----|---|-------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | | | Kawagoe domain | Sakura domain (110,000 koku) |
| 水野 | 隼人正（隼人の司令官）：忠清およびその他 出羽守（出羽国の守護）：忠職およびその他 日向守（日向国の守護）：忠幹（1718-1723） | 70,000 koku | Mikawa Province, Yoshida domain | 改易除封 |
| 戸田 | 丹波守（丹波国の守護） | 60,000 koku | Shima Province, Toba domain | 廃藩置県 |

(2) 主な出来事

以下は、松本城とその周辺の藩の歴史の中で起こった重要な出来事を記した年表である。

| Year | 出来事 | 領主 |
|------|---|-----------|
| 1504 | 島立貞永が深志城を築城する。 | |
| 1550 | 武田信玄、深志へ攻め込み、小笠原長時を撤退させる。信玄、深志城の改修に着手。 | |
| 1582 | 織田信長が武田勝頼（1546-1582）を破り、武田家を滅ぼす。小笠原貞慶が深志城を領有し、松本城と改名する。 | |
| 1590 | 小笠原氏、関東に転封。。豊臣秀吉が石川数正に松本城を与える。 | Ishikawa |
| 1593 | 大天守、乾小天守、渡櫓の築造が進む。 | |
| 1600 | 関ヶ原の戦いで石川家が徳川家康に加勢する。 | |
| 1613 | 石川康長が公金横領にからむ幕府内の派閥争い（大久保長安事件）に巻き込まれ、家康によって権力の座から追われる。小笠原秀政が松本城を支配する。 | Ogasawara |
| 1614 | 小笠原家、大坂冬の陣で徳川方につく。 | |
| 1615 | 小笠原秀政と長男の小笠原忠長が大坂夏の陣で戦死。 | |
| 1617 | 戸田康長、松本城の支配権を獲得。城の北側に武士の居住地を作る。 | Toda |

| | | |
|------|---|------------|
| 1633 | 松平直政、松本城を任される。辰巳附櫓、月見櫓などの増築を行う。 | Matsudaira |
| 1649 | 水野忠元、松本藩の検地を行う。 | Mizuno |
| 1686 | 北部の農民が藩から課せられた高い年貢に抗議する。リーダーが捕らえられ、磔にされる。 | |
| 1725 | 水野忠恒が江戸城内で刀で人を斬りかかったため、水野家は改易する。水野家不在の間、城下町の整備が行われる。 | |
| 1726 | 松本城が一時幕府の直轄となり、その後再び戸田家が城主となる。 | Toda |
| 1727 | 本丸御殿が焼失。その後、二の丸御殿、古山地御殿にその機能を移す。 | |
| 1743 | 戸田家、幕府より5万石の幕府領を預かる。 | |
| 1760 | 信濃国（松本市を含む）において、中馬に対する取締りが問題となる。 | |
| 1775 | 松本で大火が発生する。二の丸、三の丸の一部が焼失する。 | |
| 1793 | 藩校「崇教館」開校。 | |
| 1803 | 松本で再び火災が発生し、街の大部分でも大火が発生。武家屋敷、寺院など数カ所に被害を受けたり、破壊されたりした。 | |
| 1816 | 松本城下の北方の安曇野に拾ヶ堰が造られる。 | |
| 1825 | 松本藩北部で、米価の大幅な値上げに反対する数万人の農民の騒動が起こる。 | |
| 1832 | 松本と信州新町間に犀川通船開通 | |
| 1854 | 大地震により城下町の多くの建物が倒壊する。 | |
| 1862 | 松本藩士が江戸でイギリス兵2名を殺害する。 | |
| 1863 | 松本藩、浦賀湾警備への協力を命じられる。 | |
| 1864 | 松本藩、第一次長州征伐への参加を命じられる。和田峠で水戸藩の浪士が松本藩の軍を破る。 | |
| 1865 | 松本で大火が発生し、南部の住宅地が被害を受ける。松本藩、第二次長州征伐への参加を命じられ、広島に兵を派遣する。 | |
| 1866 | 松本藩南部で米価の高騰に反対する農民の騒動（一揆）が起こる。 | |
| 1868 | 松本藩、新政府に恭順の意を示し、北越戦争に参加する。 | |
| 1869 | 松本藩最後の大名戸田光久、天皇に領地を明け渡す。 | |
| 1870 | 神仏分離令が出され廃仏毀釈が始まる。 | |
| 1871 | 国藩体制が廃止され、松本藩は松本県となる。城郭が取り壊され、陸軍省に移管される。松本県は筑摩県と改称され、城の二の丸に県庁が置かれる。 | |